



諮問の趣旨

今後の下水道の整備計画及び運営財源について

本市では、昭和45年度から単独公共下水道事業として玉野処理区の整備を、また、昭和61年度から児島湖流域関連公共下水道事業として、児島湖処理区の整備を行っており、各地域において順次事業の拡大に努めてまいりました。

平成30年度末における玉野市の下水道事業による処理人口は56,479人で、行政人口に対する普及率は95.2%と岡山県内の15市で1位という状況でございます。

公共下水道は、快適で衛生的な生活環境の提供と公共用水域の水質保全という役割を担っておりますが、その事業運営は、公営企業として、一般会計との間の適正な経費負担区分を前提に、使用料収入によって経費を賄うという独立採算制の下に行われなければならないと、本市では平成15年度に公営企業に移行し、『堅実な経営』を求められてきました。

また、前回の審議会において「一般会計繰入金額の維持を要望する」との答申をいただいたにもかかわらず、一般会計の財政健全化を図るため、平成28年度から平成30年度までの3年間、それまでの年間9億円であった繰入金を2億円減の7億円とし、令和元年度においても8億2千万円となっております。

このような状況から、玉野市下水道事業の健全な運営を行うため、今後の下水道の整備計画、並びに一般会計繰入金及び下水道使用料の水準等、基本的な運営方針について、意見を求めるものであります。